

松風会 NEWS

(ゆめクラブ News) 447号 2023年(令和5年)11月号

秋分を過ぎても、今年は厳しい残暑(真夏日)が続いたことから、熱中症患者が急増しましたが、一方でコロナ感染の他に季節外れと思われるインフルエンザが流行の兆しを見せ、関東圏内で既に感染予防注意報が発せられています。イベントなど人混みの多い処へ外出の折りには、油断せず今まで通りマスクは必須です。

10月度定例会(14日、土、10:00~11:30)は開催します。10月度の会場準備、イベント(余興)共に1班の担当となりますので、よろしくお願ひします。

- 9月度定例会(9日、土、10:00~11:45) 出席者 35名 (会員数 55名)
 - ①全員で「夢クラブ 松風会の歌」を斉唱。
 - ②誕生会:9月は 那須弘子さん、森 郁子さん、西谷昭夫さん の方々です。おめでとうございます。(森さん、西谷さん は欠席) 全員で「ハッピーバースデー」を歌いお祝いをしました。
10月誕生の方:岸間さん、田嶋さん、釘宮(美代子)さん、関原さん の方々です。
 - ③9月の催事:当月当番は3班で池田さん(班長)による「野菜ゲーム」で楽しみました。
 - ④出席者の声として、「我々高齢者は如何にして健康を維持するかは好きな人との交流、好きな事をする、好きな物を食べることであろう」とのこと。(2022年刊行 幻冬舎新書「80歳の壁」和田秀樹にも記述) また、熱中できる趣味などをもつことが大事 とのことでした。
 - ⑤ミュージックタイム: 「少年時代」ほか2曲を全員で合唱しました。
 - ⑥手島さんから、10月に里芋を沢山収穫するので、芋煮会などに活用してほしいとの申し出がありました。(同氏から、健康上の理由で「バス停を綺麗にする会」を退会した旨の話がありました)
 - ⑦9月5日茅老連主催の日帰りメロン狩り旅行に14名参加、大きなメロンをゲットで大満足であった由。
- 連絡事項:茅老連関連 ①10月11日(水)老人クラブ大会の演芸部門へ当会から「松吟会」5名が参加予定 ②10月21日(土)走らない大運動会 ③11月14日(火)日帰りバス旅行—しいたけ狩り&長瀬岩畳
その他:立花さんより湘北ボラセン主催「10月7日健康ウォーク」に参加希望者は9月30日迄に申込む

リレー随筆(37)

「私の小さな願い」

小 浜 俊 江

私は日本の歴史、特に古代が大好きです。生涯学習にしている万葉集を学ぶ私には大変魅力的な時代なのです。大化の改新から壬申の乱以後の血で血を洗う天皇の後継争いに巻き込まれてしまった悲運の皇子(有馬皇子、大津皇子)達の優れた歌。女流歌人の額田王、鏡王、大泊皇女、狭野茅上娘子。男性歌人の柿本人麻呂、山部赤人。山上憶良、防人の歌等々…、そして大伴家持この人がいなければ万葉集は生まれていなかったかも知れません。また、どんなに時代が変化し科学が発達しても変わらないもの—それは人間の心—人が人を想う心、愛の心、信じる心、願望(願望の中には負の物もあるが…)これらすべてを万葉集は詠んでいるのです。私は万葉集を、心を込めた日本の歴史書の一つだと思っています。世界ではロシア、ウクライナ紛争を含め56の武力紛争が起きているとの事。これもある種の変らない人間の心の負の部分が作用しているのかと慄然とします。日常的に武力紛争の中に身を置かれている人々の事を想うと胸が痛みます。今日本は、表面上は平和です。しかしながら、いつ紛争に巻き込まれるかも知れません。私は日本や世界の平和を願ひながら「私の小さな幸せ」—齢70半ばを過ぎ色々な事から解放され、思う存分好きな事を気ままに学べる気力、体力があることに感謝しつつ、学びを継続していきたいと願っています。



メロン狩り日帰り旅行

田中久夫

9月5日茅老連主催の親善旅行に、松風会からは、竹田会長以下14名が酷暑の中参加した。出発時は快晴であったが、唯一の観光地である十国峠（ケーブル）は、気温20℃の霧で富士山など何も見えずソフトクリームなどを食べて下山した。次のフルーツパークでは、待望のメロン狩りを行い、酷暑の中、大きなメロンを物色。一番大きなメロンをとった人は、勝ち誇った顔をしていた。そこでの昼食はまぶしご飯にうどん。皆空腹のため全部平らげていた。2,000円のクーポン券をもらい、皆血眼でお土産買に没頭。次の酪農王国では、コーヒにパームクーヘンのおやつ（男は地ビール）をいただき、小田原の鈴廣蒲鉾店で今夜のおかずを買いあさって、渋滞もなく5時に帰還した。箱根の山々はきれいであったが、観光旅行でなく、買い物、食いの旅行であった。皆さんニコニコメロン顔で帰還。正味4,500円の旅なら、皆満足であろう。お疲れさま。

那須嗣夫

漢字コーナー

次の漢字読めますか？

- 1 鞭撻 2 深泥池 3 庵治石 4 鱒 5 横柄 6 躓く 7 お洒落 8 順う 9 詔う 10 誘惑
 11 疑る 12 軋轢 13 過る 14 落人 15 緩慢 16 耽る 17 駱駝 18 憚る
- なめこ ころよく ウクライナ くわい はずむ しょうよう ジュゴン ナイジェリア かまける レッサーパンダ
 1 滑子 2 快く 3 烏克蘭 4 慈姑 5 勢む 6 従容 7 儒良 8 尼日利亚 10 感ける 11 小熊猫
- じゃんしゅ だいたい いわし くつろぐ きょうか そうくつ しぐれ けやごう きす
 12 遵守 13 代替 14 蛸 15 寛く 16 強か 17 果窟 18 時雨 19 警弥郷 20 鱒 (仮名は10月号の解答)

はずむ

ジュゴン

備考：(1) 勢むは、チップを勢む、のように使用する。(2) 儒良は、儒良が一般的。

つれづれ随想

田中久夫

心眼

私は、色鉛筆画や鉛筆画を趣味としている。「生きた絵」を描くことをモットーとしてきたが、それでいいのかという疑問が最近わいてきた。海外の美術館で、著名な画家の絵画を沢山見てきたが、何か素人の描いている絵と違うように感じられた。昔、アムステルダムにあるゴッホ美術館に行った時、正面に大きなガラスの絵が飾ってあったが、一瞬それを見た時、本当にガラスが飛んでいる錯覚に陥った。よく見ると粗削りな絵である。ゴッホは、目で見えて絵を描いているのではなく、心で書いていることに気付いた。これが心眼というものであろう。心眼とは見えない真実、事実を見抜く力と言われている。そう思えた私にも少し心眼が開き始めたのではないかとうれしくなった。ただ高齢になった今では、運きに失した感がある。絵もその領域に達するためには、2～30年は必要であろうから。

9月定例会でお祝い紅白饅頭（会員全員に配布）とお弁当（出席者）をお配りしました。

